



# 2026 FJ Japan League Rd.2・3



2026年 筑波・富士 FJ1500 選手権/Super FJ 選手権

## Fuji Champion Race Series Rd.3

2026年6月21日(日) 天候:雨のち曇り 参加FJ1500/8台、S-FJ/15台



テキスト:はた☆なおゆき

全国転戦の「FJ ジャパンリーグ」は、5月の岡山国際サーキット大会以来の第2戦、第3戦となる。

岡山での第1戦、FJ1500では伊藤駿選手が#52酒井翔太選手を下して優勝、スーパーFJ(S-FJ)では井出七星翔選手がデビューウインを飾り、2位にはデビュー2戦目の柱谷翔夢伊選手が入るなど、ルーキーが大活躍のレースだった。今大会には伊藤選手、井出選手、柱谷選手とも出場していないものの、昨年の鈴鹿・岡山シリーズのチャンピオンである、#58 吉田馨選手(MYST & Hobby Base)がFJ1500で久々のレース参戦となるのが、トピックスのひとつでもある。昨年の「S-FJ 日本一決定戦」以来のレースであり、半年の間に腕に錆びはないか、シリーズを追いかけるドライバーとどう渡り合うか注目された。

今回のレースは予選、決勝2レースともに日曜日に行われる、いわゆる1デイ開催ながら、金曜日よりも、土曜日にも練習走行を行うことができ、片やドライ、片やウェットとコンディションが異なっていた。両日、走行していたドライバーであれば、日曜日がどちらのコンディションであっても対応できるようになっていたが、そもそもの予報では雨は降らないということだったが…。

早朝に起床して宿を出て、「やっぱり晴れた」と思ったのも束の間、サーキットが近づくとつれ、小雨が舞うようになったのではないかと。いざ着いてみると本格的に雨が降っており、完全に路面は濡れていて、誰もが「話が違ふ」と思ったに違いない。

## ■公式予選



予選が始まる頃には小雨に転じてはいたが、直前のスーパーカートの走行中には、水飛沫も上がっており、全車ウェットタイヤでの走行となった。先頭を切ってコースに飛び出して行ったのは、話題の#58 吉田選手。しっかりクリアラップを取って走ろうという算段のよう。逆に#52 酒井選手はいつものように、やや遅れてコースイン。#51 切替悠喜選手も同様だ。

2レース開催ながら、今大会はレース 2 がリバースグリッドでなく、ベストタイムでレース1の、セカンドベストタイムでレース2のグリッドを決する。したがって一発を決めればいいわけではなかった。

狙いどおり、計測1周目から唯一 2 分 4 秒を切る、2 分 3 秒 478 を記してきたのが#58 吉田選手。2 番手には、#52 酒井選手が2分 4 秒 120 で続く。しかしながら、次の周は#58 吉田選手がタイムダウンとなったのに対し、#52 酒井選手は 2 分 3 秒 429 を出し、トップに浮上したばかりか、計測3周目には 2 分 2 秒 931 にまで短縮を果たす。さらにラストアタックでは 2 分 2 秒 090 を絞り出し、ダメ押しの一撃とした。

一方、#58 吉田選手は終始2分3秒台での走行ではあったが、2秒台には乗せられず。それでもラスト3周で2分3秒 185 を、そして最後は2分3秒 102 を記録して2レースとも 2 番手は死守していた。3 番手は#77 光山勇正選手(F ガレージ丸和精光 KK-F)と#48 村上太晟選手(ファーストガレージ BLAU KK-F)が終盤にシーソーゲームを演じ、最後は#77 光山選手が2分3秒 815 を記録して決着が。#48 村上選手のベストタイムは2分3秒 864 と、ごく僅差だった。

そして、総合 5 番手の#14 鈴木大翔選手に続いて S-FJ のトップタイムを出していたのは、#51 切替選手だった。計測1周目からひとり2分5秒台に乗せ、次の周には2分5秒 064、さらに次の周には2分4秒 710 を記す。手応えを感じて早々にピットに戻ってきたかと思われたが、実際にはミッションにトラブルを抱えていた。

それでも、その段階ではセカンドベストタイムもトップだったが、中盤に入ってタイムを伸ばしてきたのが#67 磐上隼斗選手(アルビレックス富士吟景 GIA・KKS2)。計測5周目に2分4秒 955 を、計測6周目には2分4秒 894 を記録した結果、セカンドベストタイムでは#51 切替選手を上回り、レース2のクラスポールを奪うこととなった。S-FJ の 3 番手、4 番手はともに#55 板倉慎哉選手(AMORE Racing with F)が、そして#38 畠山退三選手(Hobby Base & MYST)が獲得している。#38 畠山選手はマスターズクラスのトップも手にしていた。

レース 1/レース2ポールポジション：#52(FJ1500)酒井翔太選手(ファーストガレージ)

「スリックでは行けなかったですね。FJ の前に走っていたカートの走行を見ていたら、まだ飛沫が上がっていたので、『けっこうまだぬれているのかな』って感じがあったので、それでレインタイヤという判断をしました。結果的には、走っている時は霧雨というか、パラパラと降っているところもあったので、やっぱりレインタイヤで良かったのかなと。最後はホント、ちょっとずつ乾いていたので、クール入れてタイヤ冷やして、もう一発行けば、たぶんタイム上がるだろうと、ちょっと考えて走りました。決勝、このまま行けば予報でもドライだという感じですし、けっこうドライも調子良かったので、普通にミスなく行ければな、と思っています」



レース 1/レース2予選 2 番手：#58(FJ1500)吉田馨選手(MYST & Hobby Base)

「先頭で行ったのは狙いどおりです。スリップは使わなかったです。まあ、セクター1、2は速かったらしいんですが、ちょっとセクター3 だけ遅れてしまっているので、そこはちょっと決勝に向けて改善して、ドライだったらドライで、まあ自信持って行けると思うので頑張ります」



レース 1/レース2予選 3 番手：#77(FJ1500)光山勇正選手(F ガレージ丸和精光 KK-F)

「前と詰まっているんで、少し離して最後まで走ったんですけど、ちょっと1コーナーは行き過ぎちゃって、若干ミスがあったんです。あとダンロップコーナーの1個目で、そこだけ雨が降ってきちゃって、若干そこもミスがあって、結果的にコンマ1上がったんで、良かったんですけど、2か所でミスしちゃったのが、いちばん良くなかったです。去年の11月までずっとカートのレースに出ている、FJ1500は3月ぐらいから走り始めました。今、17歳です。全日本はOKクラスで1回出たことがあって、あとはROTAX MAXでずっと出ている、そっちで走っていました。今はやっとFJにも慣れてきました」



## ■決勝レース1



予選の後、雨は降ったりやんだりを繰り返していたが、レース1の直前には、もっと厄介なのがやってきた。霧である。併催レースはセーフティカースタートで開始されたが、一層濃くなっていき、わずか7分で赤旗が出される始末。中断は1時間近くに及んでしまう。このままではFJのレース1はまだしも、レース2は日没で中止になる可能性さえあった。しかし、霧はやがて晴れて、タイムスケジュールの組み直しによって、レース1は20分遅れで、レース2は定刻どおり行われることに。

雨はすでにやんでいたから、路面はいわゆるダンプコンディション。タイヤ選択が悩ましいところだが、フロントローに並ぶ#52 酒井選手と#58 吉田選手は迷うことなく、スリックタイヤでコースイン。FJ1500の上位陣はグリッドでスリックタイヤに交換した。S-FJの上位の多くもグリッドでスリックタイヤに換えたものの、#67 磐上選手はウェットタイヤのまま。さて、この選択が吉と出るか凶と出るか。

スタートを決めて、#52 酒井選手がトップで1コーナーに飛び込むも、#58 吉田選手は少しも遅れず。1周目を終えた段階で3番手以下をもう1秒引き離したが、両者の差はコンマ1秒にも満たず。スリップストリームから抜け出した#58 吉田選手が1コーナーで先行する。それでも目まぐるしい順位の入替わりが予想されたものの、その後の#52 酒井選手は徐々に遅れを取るようになっていく。



その後方では、スタートで#48 村上選手の先行を許していた#77 光山選手だったが、3周目に前に出てからは単独走行に。このふたりに続いたのは#14 鈴木選手だったが、3周目の1コーナーでスピン。大きく

順位を落とし、代わって総合でも5番手につけたのが、S-FJトップの#51 切替選手。1周目を終えた段階ではウェットタイヤを履く#67 磐上選手が前に出ているが、2周目には逆転を果たし、そこからは#48 村上選手にも迫っていく。6周目のストレートでは総合4番手に浮上していた#51 切替選手は、そのままスーパーFJ勢をまったく寄せつけずに周回を重ねていたが、なんとゴール間際に失速が。予選で生じたミッショントラブルの再発だ。大量のリードで逃げ切れたものの、もうあと1周あったなら！

S-FJの2番手は、#38 畠山選手と#55 板倉選手の間で競われることに。最終ラップの1コーナー、コカ・コーラコーナーで最後の勝負に討って出た#55 板倉選手ながら、#38 畠山選手のガードも固く、逆転は許されず。もちろん#38 畠山選手は2位とともにマスターズクラスの優勝も飾っている。



優勝(FJ1500): #58 吉田馨選手(MYST & Hobby Base)

「ぶっちぎりでしたね。スタートからけっこう調子良かったので、決め切ることができたので、良かったです。気持ちいいです。次のレースも気を引き締めて頑張ります！」

2位(FJ1500): #52 酒井翔太選手(ファーストガレージ)

「全然わからないです、なんか。まったくスピードが、タイヤも全然来ないし、本当にリヤも全然ダメで、まったくペースが上がらない状態でした」

3位(FJ1500): #77 光山勇正選手(F ガレージ丸和精光 KK-F)

「まあ、そうですね、普通に3位は最低でも狙っていたので、とりあえず良かったかなと。次のレースも頑張ります」

(S-FJ)優勝: #51 切替悠喜選手(ファーストガレージ KSD 制動屋 S2)

「ギヤがなくなってしまうと、1周違っていたら、本当に危なかったんですけど、それまでに築いたギャップで優勝できたんですけど、まだ第2レースがあるので、そこまでにちょっと原因見つけないとまずいな、という感じですね」

(S-FJ)2位&マスタースクラス優勝: #38 畠山退三選手(Hobby Base & MYST)

「マスタースクラスの優勝というより、S-FJの2位の方が嬉しいです。一回ちょっとエンジン止まっちゃったんで、それで追いつかれちゃったんです。たまにあるんですよ。それで一気に追いつかれちゃったんですが、しょうがないですね」

(S-FJ)3位: #55 板倉慎哉選手(AMORE Racing F)

「楽しかったです。最後、行けそうだったんですけど、接触しちゃったので引いて。頑張ります、2レース目も！」

## ■決勝レース2



S-FJで#51切替選手と#67磐上選手がグリッドを入れ替えたものの、両クラスとも上位陣の並びはレース1とほぼ変わらず。レース2が始まる頃には路面もほぼ乾いて、全車がスリックタイヤを装着して臨んだ。気になるのは、#51切替選手のトラブルを抱えたミッションだが、メカニックの判断でパーツを交換。しっかり修復されていればいいのだが……。

フロントローに並んだふたりのうち、よりスタートを決めて1コーナーにトップで飛び込んだのは#58吉

田選手。しかし、#52 酒井選手も負けてはいない。コカ・コーラ コーナーで抜き返し、2周目の1コーナーでも#58 吉田選手の再逆転を許すも、今度は遅れることなく続いていく。

2 台はその後も抜きつ抜かれつのトップ争いを繰り広げたが、状況としては#58 吉田選手の方が優勢に見えた。しかし、#52 酒井選手の猛攻に対し、ガードを固めたがあまりペースが鈍って、それまで引き離していた#77 光山選手ばかりか、#51 切替選手の接近も最終ラップには許してしまう。

#51 切替選手はスタートでまずクラストップに立ち、総合でも 5 番手に浮上。3周目には#48 村上選手をパスし、#77 光山選手にも迫っていく。そして、その勢いでトップ争いにも加わるようになった。

最終ラップ、4 台の中で最初に動いたのは、#52 酒井選手だった。コカコーラコーナーでの仕掛けはかなわぬも、ヘアピンでトップに浮上。さらにダンロップコーナーでは#51 切替選手が 3 番手に。最後のストレートで連なり合うも、そのままの順位でフィニッシュ！

#52 酒井選手が優勝し、#58 吉田選手が 2 位に。そして 3 位でゴールした#51 切替選手は、もちろん S-FJ で 5 連勝。総合でも表彰台に立つことになった。

一方、S-FJ の 2 番手以下も、やや波乱含みの展開となっていた。まず#38 畠山選手がスタート直後の1コー



ナーでスピンして順位を落とし、2周目の GR GT コーナーでは 3 番手を走行していた#55 板倉選手もまたスピンで後退。さらに#67 磐上選手は、2周目に#22 内藤大輝選手(RCIT RaiseUP MT)に抜かれるも、5周目には再逆転を果たしていた。

そして、その後方には激しく追いつけてきた#38 畠山選手の姿が。追いつくのも時間の問題かと思われたが、やがてエンジンが不調を来すようになり、9周目にはコース脇に止めて自らリタイヤの判断を下すことに。これにより、#67 磐上選手が 2 位、#22 内藤選手が 2 位を獲得した。

富士での2レースを終えた結果、筑波・富士シリーズ、ジャパンリーグとも#52 酒井選手がランキングトップに浮上。



優勝(FJ1500): #52 酒井翔太選手(ファーストガレージ)

「タイヤのロットが違ったのかも？ 僕は1レース目、去年のロットで走っていたんですが、僕は2レース目、今年のロットだったので、それでまあ、差も縮まったのかな、って感じでしたね。けっこう走っている方はハラハラ、ドキドキだったんですけど、本当にいいレースできたな、と思っています」

2位(FJ1500): #58 吉田馨選手(MYST & Hobby Base)

いいバトルではありましたが、悔しいですね、競り負けたので。差は、そうですね、いろいろあると思うんですけど、最終ラップの1コーナー、アウトでけっこうイン閉めて、アウトから行ったのが選択として、ちょっと閉め過ぎたので苦しくなっちゃったのかなってところもあったので、そこは勉強して。次に活かせたらいいなと思っています。次の富士も出る予定なので、また頑張ります」

3位:(S-FJ 優勝): #51 切替悠喜選手(ファーストガレージ RSD 制動屋 S2)

「メカニックの方が新しいものに交換してくださったから、ミッションは大丈夫だったので、メカニックの方に感謝したいと思います。オープニングラップのうちに 1500 の方も、2 台抜いたのかな。その後、村上くんを抜いて、トップ 3 にも徐々に追いついていったので、そこは良かったと思います。賞金は総合(順位)だったので(苦笑)、ただ無理はせずにアウト側にスペースがあったので、そこに冷静に持ち込めたのは良かったです。いろいろあったんですが、流れを崩さずにやってこられたのは、今週、すごく良かったです。今年はまだ、日本一獲る気でやっているんで、まずは筑波・富士でチャンピオン獲って、その後もてぎがあるので、そこに向けて集中して行ければなと思っています」

(FJ1500) 3 位: #77 光山勇正選手(F ガレージ丸和精光 KK-F)

「前のふたりが速かったですね。最後、ワンチャンあるかなと思ったんですけど、隅に行った結果、ひとつ順位落としちゃって、そこがちょっと悔しいですね」

(S-FJ) 2 位: #56 磐上隼斗選手(アルビレックス富士吟景 GIA・KKS2)

「レース1のリベンジはできましたが、ポールだったので、ちょっと前半揉まれて失速しちゃったのが惜しまれます。後半、後ろは引き離せましたが、切替くんのことばかり意識し過ぎていたので、ちょっと悔しいですね。また、お願いします」

(S-FJ) 3 位: #22 内藤大輝選手(RCIT RaiseUP MT)

「けっこうバトルもできて、2 位には行かれちゃいましたけど、できることはできたと思います。しばらく苦戦が続きましたが、ちょっといい兆しが見えているので、はい。これからも頑張っていこうと思っています」

(マスターズクラス) 1 位: #3 秋山健也選手(スーパーウィングス KKS2)

「畠山選手がいなくなっちゃったので、そこで僕が運良く行きましたけど、畠山さんには離されていましたね。いろんなところで練習されているみたいで速くなっちゃって、このところ、やられっぱなしでしたが、次の機会には！」





決勝レース1(マスターズクラス)表彰台









# Fuji Champion Race Series Rd.3

6/19-21



No 16

筑波・富士FJ1500/Super FJ 第4戦・第5戦/FJジャパンリーグ第2戦・第3戦

## FJ1500/Super FJ 公式予選

2026/6/21 9:35



正式結果表

Weather : Rain

Fuji Speedway(4,563m)

Best Time

Track : Wet

Pos	No	Class	C.P.	Name	Car	Type	Best Time	Lap	Gap	Ave. km/h
1	52	FJ1500	1	酒井 翔太	ファーストカレージ	KK-F	2'02.090	9		134.547
2	56	FJ1500	2	吉田 馨	MYST&HobbBase	KK-F	2'03.102	10	1.012	133.441
3	77	FJ1500	3	光山 勇正	Fカレージ丸和精光KK-F	KK-F	2'03.815	10	1.725	132.672
4	48	FJ1500	4	村上 太晟	ファーストカレージ BLAU KK-F	KK-F	2'03.864	10	1.774	132.620
5	14	FJ1500	5	鈴木大翔	ZAP SPEED KK-F	KK-F	2'04.410	10	2.320	132.038
6	51	S-FJ	1	切替 悠喜	ファーストカレージRSD制動屋S2	KKS-II	2'04.710	5	2.620	131.720
7	67	S-FJ	2	磐上 隼斗	アルビレックス富士吟景GIA・KKS2	KKS-II	2'04.894	10	2.804	131.526
8	55	S-FJ	3	板倉 慎哉	AMORE Racing with F	KKS-II	2'04.961	10	2.871	131.455
9	38	S-FJ G	1	畠山 退三	Hobby Base& MYST	KKS-II	2'05.091	10	3.001	131.319
10	22	S-FJ	4	内藤 大輝	RCIT RaiseUP MT	KKS-II	2'05.329	10	3.239	131.069
11	15	S-FJ	5	相田 有羽音	ZAP SPEED 10VED	RD10V	2'05.459	10	3.369	130.934
12	43	S-FJ	6	宇高 希	テイク エヌエーティー	KKS-II	2'05.924	10	3.834	130.450
13	16	FJ1500 G	1	青合 正博	TEAM HERO'S Rn SPORTS	KK-F	2'06.085	10	3.995	130.284
14	72	S-FJ	7	前田 大道	ELEVレーシングドリムKKS II	KKS-II	2'06.163	10	4.073	130.203
15	3	S-FJ G	2	秋山 健也	スーパーウィンスKKS2	KKS-II	2'06.408	9	4.318	129.951
16	13	FJ1500	6	テワン クリストファー	InfernoR.KK-F	KK-F	2'06.734	10	4.644	129.616
17	2	S-FJ	8	松下 彰臣	Abel Hoshō&PARM ZAP 10VED	RD10V	2'06.771	10	4.681	129.579
18	11	FJ1500 G	2	小嶋 健太郎	Rn-sports制動屋 KK-F	KK-F	2'07.048	10	4.958	129.296
19	4	S-FJ G	3	古里 拓	HOLOSレーシング	KKS-II	2'07.213	10	5.123	129.128
20	8	S-FJ G	4	野村 大樹	WRS NONURA KKS-II	KKS-II	2'07.621	10	5.531	128.715
21	7	S-FJ G	5	野口 伸周	野口商會 ZAP10VED	RD10V	2'09.469	9	7.379	126.878
22	36	S-FJ	9	井伊 諒河	アルビGIA訪問看護こころ 10V	RD10V	2'10.574	9	8.484	125.805
23	25	S-FJ G	6	マリア 昌	WRS MASA KKS-II	KKS-II	2'12.324	9	10.234	124.141

\*\*\*\*\* 以上予選通過 (2'39.903 - 130%) \*\*\*\*\*

No 18

筑波・富士FJ1500/Super FJ 第4戦・第5戦/FJジャパンリーグ第2戦・第3戦

## FJ1500/Super FJ 公式予選

2026/6/21 9:40



正式結果表

Weather : Rain

Fuji Speedway(4,563m)

2nd Best Time

Track : Wet

Pos	No	Class	C.P.	Name	Car	Type	Best Time	Lap	Gap	Ave. km/h
1	52	FJ1500	1	酒井 翔太	ファーストカレージ	KK-F	2'02.931	9		133.626
2	56	FJ1500	2	吉田 馨	MYST&HobbBase	KK-F	2'03.185	10	0.254	133.351
3	77	FJ1500	3	光山 勇正	Fカレージ丸和精光KK-F	KK-F	2'03.910	10	0.979	132.570
4	48	FJ1500	4	村上 太晟	ファーストカレージ BLAU KK-F	KK-F	2'04.065	10	1.134	132.405
5	14	FJ1500	5	鈴木大翔	ZAP SPEED KK-F	KK-F	2'04.894	10	1.963	131.526
6	67	S-FJ	1	磐上 隼斗	アルビレックス富士吟景GIA・KKS2	KKS-II	2'04.955	10	2.024	131.462
7	51	S-FJ	2	切替 悠喜	ファーストカレージRSD制動屋S2	KKS-II	2'05.064	5	2.133	131.347
8	55	S-FJ	3	板倉 慎哉	AMORE Racing with F	KKS-II	2'05.172	10	2.241	131.234
9	38	S-FJ G	1	畠山 退三	Hobby Base& MYST	KKS-II	2'05.236	10	2.305	131.167
10	22	S-FJ	4	内藤 大輝	RCIT RaiseUP MT	KKS-II	2'05.719	10	2.788	130.663
11	15	S-FJ	5	相田 有羽音	ZAP SPEED 10VED	RD10V	2'06.201	10	3.270	130.164
12	43	S-FJ	6	宇高 希	テイク エヌエーティー	KKS-II	2'06.238	10	3.307	130.126
13	16	FJ1500 G	1	青合 正博	TEAM HERO'S Rn SPORTS	KK-F	2'06.391	10	3.460	129.968
14	72	S-FJ	7	前田 大道	ELEVレーシングドリムKKS II	KKS-II	2'06.527	10	3.596	129.828
15	3	S-FJ G	2	秋山 健也	スーパーウィンスKKS2	KKS-II	2'06.894	9	3.963	129.453
16	2	S-FJ	8	松下 彰臣	Abel Hoshō&PARM ZAP 10VED	RD10V	2'07.131	10	4.200	129.212
17	11	FJ1500 G	2	小嶋 健太郎	Rn-sports制動屋 KK-F	KK-F	2'07.365	10	4.434	128.974
18	4	S-FJ G	3	古里 拓	HOLOSレーシング	KKS-II	2'07.631	10	4.700	128.705
19	13	FJ1500	6	テワン クリストファー	InfernoR.KK-F	KK-F	2'08.029	10	5.098	128.305
20	8	S-FJ G	4	野村 大樹	WRS NONURA KKS-II	KKS-II	2'08.814	10	5.883	127.523
21	7	S-FJ G	5	野口 伸周	野口商會 ZAP10VED	RD10V	2'09.798	9	6.867	126.557
22	36	S-FJ	9	井伊 諒河	アルビGIA訪問看護こころ 10V	RD10V	2'10.926	9	7.995	125.466
23	25	S-FJ G	6	マリア 昌	WRS MASA KKS-II	KKS-II	2'12.581	9	9.650	123.900

\*\*\*\*\* 以上予選通過 (2'40.344 - 130%) \*\*\*\*\*

FJ1500/Super FJ 第4戦 決勝レース

2026 / 6 / 21 14:35



正式結果表

Weather : Cloudy

Fuji Speedway(4,563m)

Track : Wet & Dry

Pos	No	Class	C.P.	Name	Car	Type	Lap	Total Time	Ave. km/h	Gap	Best Time	Lap	
1	56	FJ1500	1	吉田 馨	MYST&HobbBase	KK-F	12	22'57.038	142.354		1'53.751	7	
2	52	FJ1500	2	酒井 翔太	ファーストカレージ	KK-F	12	23'09.308	141.097	12.270	1'54.766	7	
3	77	FJ1500	3	光山 勇正	Fカレージ丸和精光KK-F	KK-F	12	23'10.861	140.939	13.823	1'54.260	11	
4	48	FJ1500	4	村上 太晟	ファーストカレージ BLAU KK-F	KK-F	12	23'19.426	140.077	22.388	1'55.457	10	
5	51	S-FJ	1	切替 悠喜	ファーストカレージRSD制動屋S2	KKS-II	12	23'22.297	139.790	25.259	2.871	1'54.688	11
6	38	S-FJ G	1	畠山 退三	Hobby Base& MYST	KKS-II	12	23'27.491	139.274	30.453	5.194	1'55.436	8
7	55	S-FJ	2	板倉 慎哉	AMORE Racing with F	KKS-II	12	23'27.773	139.246	30.735	0.282	1'55.236	8
8	22	S-FJ	3	内藤 大輝	RCIT RaiseUP MT	KKS-II	12	23'35.440	138.492	38.402	7.667	1'55.781	9
9	11	FJ1500 G	1	小嶋 健太郎	Rn-sports制動屋 KK-F	KK-F	12	23'47.475	137.324	50.437	12.035	1'56.779	12
10	14	FJ1500	5	鈴木大翔	ZAP SPEED KK-F	KK-F	12	23'48.159	137.259	51.121	0.684	1'55.099	10
11	15	S-FJ	4	相田 有羽音	ZAP SPEED 10VED	RD10V	12	23'49.835	137.098	52.797	1.676	1'56.776	11
12	67	S-FJ	5	磐上 隼斗	7ルビレックス富士吟景GIA・KKS2	KKS-II	12	23'49.976	137.084	52.938	0.141	1'57.887	3
13	3	S-FJ G	2	秋山 健也	スーパーウイングスKKS2	KKS-II	12	23'57.503	136.366	1'00.465	7.527	1'57.114	9
14	2	S-FJ	6	松下 彰臣	Abel Hoshu&PARM ZAP 10VED	RD10V	12	24'04.512	135.705	1'07.474	7.009	1'57.776	7
15	16	FJ1500 G	2	青合 正博	TEAM HERO'S Rn SPORTS	KK-F	12	24'05.698	135.593	1'08.660	1.186	1'57.981	11
16	4	S-FJ G	3	古里 拓	HOLOSレグレーション	KKS-II	12	24'12.860	134.925	1'15.822	7.162	1'58.015	11
17	72	S-FJ	7	前田 大道	ELEVレーションドライバーKKS II	KKS-II	12	24'12.893	134.922	1'15.855	0.033	1'58.951	3
18	43	S-FJ	8	宇高 希	テイク エヌエーティ	KKS-II	12	24'12.963	134.915	1'15.925	0.070	1'59.562	2
19	13	FJ1500	6	デワン クリストファー	InfernoR.KK-F	KK-F	12	24'14.692	134.755	1'17.654	1.729	1'58.843	12
20	8	S-FJ G	4	野村 大樹	WRS NONURA KKS-II	KKS-II	12	24'41.452	132.321	1'44.414	26.760	2'00.943	4
21	7	S-FJ G	5	野口 伸周	野口商會 ZAP10VED	RD10V	12	24'56.198	131.017	1'59.160	14.746	2'02.705	11
22	25	S-FJ G	6	マシバ 昌	WRS MASA KKS-II	KKS-II	12	24'56.450	130.995	1'59.412	0.252	2'02.397	8
***** 以上完走 (規定周回数 10Laps) *****													
36	S-FJ			井伊 諒河	7ルビGIA訪問看護こころ 10V	RD10V	0						

Fastest Lap

S-FJ	1'54.688 (11 / 12)	143.230 km/h	51	切替 悠喜 / ファーストカレージRSD制動屋S2
S-FJ G	1'55.436 (8 / 12)	142.302 km/h	38	畠山 退三 / Hobby Base& MYST
FJ1500 G	1'56.779 (12 / 12)	140.666 km/h	11	小嶋 健太郎 / Rn-sports制動屋 KK-F
FJ1500	1'53.751 (7 / 12)	144.410 km/h	56	吉田 馨 / MYST&HobbBase

Start Time :13:14'11 Finish Time :13:37'08.038

Entry :23 Start :23 Finish :22

黒白旗提示(13:27 CarNo.43 ストレート走行マナー)  
 黒白旗提示(13:31 CarNo.67 走路外走行複数回)

## FJ1500/Super FJ 第5戦 決勝レース

2026 / 6 / 21 17:45

FUJI SPEEDWAY

正式結果表

Weather : Cloudy

Fuji Speedway(4,563m)

Track : Dry

Pos	No	Class	C.P.	Name	Car	Type	Lap	Total Time	Ave. km/h	Gap	Best Time	Lap		
1	52	FJ1500	1	酒井 翔太	ファーストカレージ	KK-F	12	22'32.852	144.899		1'51.757	10		
2	56	FJ1500	2	吉田 馨	MYST&HobbBase	KK-F	12	22'32.975	144.886	0.123	0.123	1'51.937	5	
3	51	S-FJ	1	切替 悠喜	ファーストカレージRSD制動屋S2	KKS-II	12	22'33.840	144.793	0.988	0.865	1'51.983	5	
4	77	FJ1500	3	光山 勇正	カレージ丸和精光KK-F	KK-F	12	22'33.915	144.785	1.063	0.075	1'51.985	10	
5	48	FJ1500	4	村上 太晟	ファーストカレージ BLAU	KK-F	12	22'39.261	144.216	6.409	5.346	1'52.519	5	
6	67	S-FJ	2	壺上 隼斗	アルビレックス富士吟景GIA・KKS2	KKS-II	12	22'48.272	143.266	15.420	9.011	1'52.753	8	
7	22	S-FJ	3	内藤 大輝	RCIT RaiseUP MT	KKS-II	12	22'54.274	142.641	21.422	6.002	1'53.306	7	
8	14	FJ1500	5	鈴木大翔	ZAP SPEED	KK-F	12	22'54.312	142.637	21.460	0.038	1'53.361	7	
9	43	S-FJ	4	宇高 希	テイク エヌエーティ	KKS-II	12	22'58.488	142.205	25.636	4.176	1'53.471	10	
10	72	S-FJ	5	前田 大道	ELEVレーシングトリー&KKS II	KKS-II	12	23'02.684	141.773	29.832	4.196	1'53.779	11	
11	55	S-FJ	6	板倉 慎哉	AMORE Racing with F	KKS-II	12	23'12.571	140.766	39.719	9.887	1'52.942	11	
12	3	S-FJ G	1	秋山 健也	スーパーウィンスKKS2	KKS-II	12	23'13.913	140.631	41.061	1.342	1'54.783	12	
13	16	FJ1500 G	1	青合 正博	TEAM HERO'S Rn SPORTS	KK-F	12	23'18.304	140.189	45.452	4.391	1'55.439	5	
*1	14	2	S-FJ	7	松下 彰臣	Abel Hoshō&PARM ZAP 10VED	RD10V	12	23'26.720	139.351	53.868	8.416	1'55.549	5
15	15	S-FJ	8	相田 有羽音	ZAP SPEED 10VED	RD10V	12	23'27.279	139.295	54.427	0.559	1'55.036	10	
*2	16	13	FJ1500	6	テワン クリスファー	InfernoR.KK-F	KK-F	12	23'31.869 (23'26.869+5.00)	59.017	4.590	1'55.269	7	
17	4	S-FJ G	2	古栗 拓	HOLOSレーシング	KKS-II	12	23'32.186	138.811	59.334	0.317	1'55.528	8	
18	11	FJ1500 G	2	小嶋 健太郎	Rn-sports制動屋	KK-F	12	23'40.159	138.032	1'07.307	7.973	1'55.483	9	
19	36	S-FJ	9	井伊 諒河	アルビGIA訪問看護こころ 10V	RD10V	12	23'49.130	137.165	1'16.278	8.971	1'56.888	11	
20	25	S-FJ G	3	マリエ 昌	WRS MASA KKS-II	KKS-II	12	24'28.491	133.489	1'55.639	39.361	1'57.283	5	
***** 以上完走(規定周回数 10Laps) *****														
*2	38	S-FJ G		畠山 退三	Hobby Base& MYST	KKS-II	8	15'31.813 (15'26.813+5.00)	4Laps	4Laps	1'54.319	4		
	7	S-FJ G		野口 伸岡	野口商会 ZAP10VED	RD10V	8	16'30.197	131.610	4Laps	58.384	1'57.822	5	
	8	S-FJ G		野村 大樹	WRS NONURA KKS-II	KKS-II	7	14'46.036	128.542	5Laps	1Lap	1'55.729	5	

## Fastest Lap

S-FJ	1'51.983 (5 / 12)	146.690 km/h	51	切替 悠喜 / ファーストカレージRSD制動屋S2
S-FJ G	1'54.319 (4 / 8)	143.693 km/h	38	畠山 退三 / Hobby Base& MYST
FJ1500 G	1'55.439 (5 / 12)	142.299 km/h	16	青合 正博 / TEAM HERO'S Rn SPORTS
FJ1500	1'51.757 (10 / 12)	146.987 km/h	52	酒井 翔太 / ファーストカレージ

Start Time :16:14'19 Finish Time :16:36'51.852

Entry :23 Start :23 Finish :20

\*1 CarNo.2は、訓戒(富士スピードウェイ一般競技規則第8章第30条2.「順位を守るための進路変更」)

\*2 CarNo.13, 38は、タイムペナルティ5秒(富士スピードウェイ一般競技規則第8章第28条4.(4) d.「スタート進行要領違反」)

